



Weekly Report 2024-2025



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：江島繁夫 / 幹事：岩本達也 / 副会長：島谷隆 / 会長エレクト：鈴木雅博 / 副幹事：堀井実 / S.A.A: 中井博

| | | |
|---|----------|------------------|
| 今週のプログラム | 第2630回 | 4月18日 |
| 客話「イサム・ノグチが遺したもの」公益財団法人イサム・ノグチ日本財団 元事務局長 池田 文 様 | | |
| 担当者 | プログラム委員会 | 例会場 JRホテルクレメント高松 |

| | | |
|---|----------|------------------|
| 先週のプログラム | 第2629回 | 4月11日 |
| 客話「香川県独立の父中野武宮の功績とその人生が蘇るまで」松平公益会事務局長 稲毛清和様 | | |
| 担当者 | プログラム委員会 | 例会場 JRホテルクレメント高松 |



江島会長挨拶

皆さんこんにちは
今日4月11日はガッツポーズの日だそうです
1974(昭和49)年の今日行われたボクシングWBCライト級タイトルマッチ、ガッツ石松 対 R(ロドルフォ)・ゴンザレス戦でガッツ石松がチャンピオンに勝利して
両手を挙げて喜びを表した姿をある新聞記者がガッツポーズと表現したことで、両こぶしを高くつき上げるポーズがガッツポーズと呼ばれるようになり、このガッツ石松の勝利とガッツポーズが広まるきっかけとなった4月11日が記念日となったようです
話が変わりますが、先日ミャンマーで地震がありました大変な被害を出しているようです
サンさんを通じて幾ばくか支援ができればと先週臨時理事会にてご提案があり今週来週と例会時に寄付を募ることになりました
ご協力のほどよろしくお願いいたします
今日もよろしくお願いいたします

幹事報告

回覧 ・ガバナー月信4月号
・スペシャルオリンピックス日本・香川ニュースレター



| | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 4月18日 今日は何の日 | 今日生まれの有名人 |
| 世界アマチュア無線の日/よい歯の日/発明の日 | 1979年 上地雄輔 1958年 小宮悦子 |
| 1956年 モナコ大公レーニエ3世がグレース・ケリーと結婚 | 1975年 天達武史 1956年 宅麻伸 |
| 1980年 ジンバブエがイギリスより独立 | 1969年 黒田清子 1949年 つボイノリオ |
| 誕生日花 | 「アルストロメリア」花言葉は“持続・未来への憧れ・凛々しさ” |
| 誕生日石 | 「ピンクサファイア」宝石言葉は“恋愛成就・成功・誠実・明晰・慈愛” |

手に手つないで
手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



ニコニコBOX

| | |
|--|----|
| 新入会員です。よろしくお願ひします。 | 大森 |
| 今年度からよろしくお願ひします。 | 吉田 |
| これからよろしくお願ひいたします。 | 山中 |
| 今後共よろしくお願ひ致します。 | 梶原 |
| 残り3カ月となりました。よろしくお願ひします。 新入会員のみなさん、よろしくお願ひします。 | 江島 |
| 稲毛様、本日は楽しい話ありがとうございました。 | 有友 |
| そういえば誕生祝でお手紙をもらっていました。 | 低田 |
| 長男がフィジーク大阪大会で準優勝しました。 | 藤田 |

合計 8 件

本日 の 合計 61,000 円

2024-2025 年度 累計 808,500 円

出席報告

出席委員長：川口英樹

| | | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 会員数 / | 42 名 | 出席規準数 / | 39 名 |
| 出席者数 / | 26 名 | 欠席者数 / | 13 名 |
| 出席率 / | 66.67% | ビジター / | 1 名 |
| 最終出席率 / | 3 月 28 日 | 65.79% → | 73.68% |

メイクアップ

高松RC 向井 幸司 様

メイクアップ

4月 7日 高松北RC 泉谷 藤田

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
 題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願ひ申し上げます。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
 していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

2025-26年度RI会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏について



2025-26年度国際ロータリー(RI)会長の指名委員会による面接が、エバンストンにあるRI世界本部で行われた後、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏はホテルに戻り、待ち続けました。「これは候補者を絞るプロセスで、不安は最高潮に達しました」。連絡を受け、数ブロック先の本部に向かって歩きながら、自分が話したことを振り返りました。ようやく自分が呼び戻された理由が分かった時は、胸がいっぱいになりました。「指名委員会の人たちが立ち上がって、拍手で出迎えてくれました。会長になる者として最初の言葉を述べるように言われたのですが、出た言葉は『本当にいいんですか?』でした」

デ・カマルゴ氏のロータリー歴は数十年に及びます。1980年にブラジルのサントアンドレ・ロータリークラブ(RC)に入会した彼は、翌年24歳の時にクラブの青少年交換委員となり、92-93年度にクラブ会長を務めました。1999-2000年度には第4420地区(ブラジル、サンパウロ州の一部)のガバナー、15-19年度にはロータリー財団管理委員、19-21年度にはRI理事を歴任しました。また、RIラーニングファシリテーター、各種委員会委員および委員長、タスクフォース委員として、ロータリーに貢献してきました。同じくロータリアンであるデニース・ダ・シルバ・デ・カマルゴ夫人と共に、ロータリー財団のメジャードナーおよびベネファクターです。

デ・カマルゴ氏は印刷会社であるGráfica Bandeirantes社の元社長であり、ブラジル印刷業界のコンサルタント、印刷およびグラフィック関連の複数の業界団体の会長や理事も務めています。所属クラブが支援するサントアンドレの医療センター「Casa de Esperança(希望の家)」の理事でもあり、同センターには年間20万人以上の患者が訪れています。

次週のプログラム

第 2631 回

4 月 25 日

地区大会

担当者 会長・幹事

例会場 レクザムホール